

令和 8 年度

芦屋市 各会計予算案 概要

モンテベロバラ園（岩ヶ平公園内）

目次

令和8年度予算の編成方針について…	3ページ
令和8年度芦屋市当初予算案	4ページ
令和8年度主な事業	9ページ
付属資料	56ページ

令和8年度予算の編成方針について

芦屋市は住宅都市として発展し、活動力のある市民が多い市民力の高いまちです。“人”を大切にして、市民と行政が課題や変化に対応しつつ、まちとしての魅力をさらに高め、次世代へ引き継ぐための施策を実施します。

令和8年度は第5次総合計画と第3期創生総合戦略が始動します。また、新たに策定する新行財政改革を推進し、人口構造の変化に対応した持続可能な行財政運営を目指します。

新たな計画の始動と「人」を中心としたまちづくり

令和8年度は、第5次総合計画後期基本計画と第3期創生総合戦略が動き出す、まちづくりの転換点です。芦屋らしい魅力を高め、次世代へ引き継ぐため、「人」を大切にした施策を推進します。市民と行政が課題や変化を共有し、対話を通じて、より良い未来像を形にしていきます。

重点分野は「子育て・教育」「福祉・防災」「みらいの都市づくり」

人口減少・高齢化、公共施設の老朽化、物価高騰や環境問題など、課題が複合化しています。こうした状況でも「世界で一番住み続けたいと思えるまち」を目指し、子育て・教育、福祉・防災、みらいの都市づくりを予算編成の中心に据えます。日々の安心と将来の成長を両立させる取組を進めます。

限られた財源で成果を高める

人口減少への対応には、抑制策を進める「緩和」と、事業の再構築で持続性を高める「適応」を両輪で推進します。縮小・廃止も含めた見直しと優先順位付けを徹底とともに、「学び」、「文化」、「協働」の視点や、生成AIなどのDXの手法を活用することで、新たな行政課題に対応していきます。

令和8年度 芦屋市当初予算案①

一般会計

会計名	令和8年度	前年度比	増減率	増減理由
一般会計	493億8,000万円	2億2, 200万円	0.5%	P6～P8をご覧ください

特別会計

会計名	令和8年度	前年度比	増減率	増減理由
国民健康保険事業	91億2,000万円	3億800万円	3.5%	保険給付費及び子ども・子育て支援納付金の新設に伴う事業費納付金の増加
公共用地取得費	5億2,200万円	△4億2,700万円	△45.0%	JR芦屋駅南地区再開発事業に係る公有財産購入費の減少
都市再開発事業	5億2,400万円	△1億300万円	△16.4%	JR芦屋駅南地区再開発事業に係る用地取得費、補償費等の減少
駐車場事業	4,700万円	△1,250万円	△21.0%	電気設備の更新に係る負担金の減少
介護保険事業	107億7,800万円	3億5,200万円	3.4%	介護給付費の増加
後期高齢者医療事業	34億7,100万円	2億8,300万円	8.9%	兵庫県後期高齢者医療広域連合納付金の増加
合　　計	244億6,200万円	4億50万円	1.7%	

令和8年度 芦屋市当初予算案②

企業会計

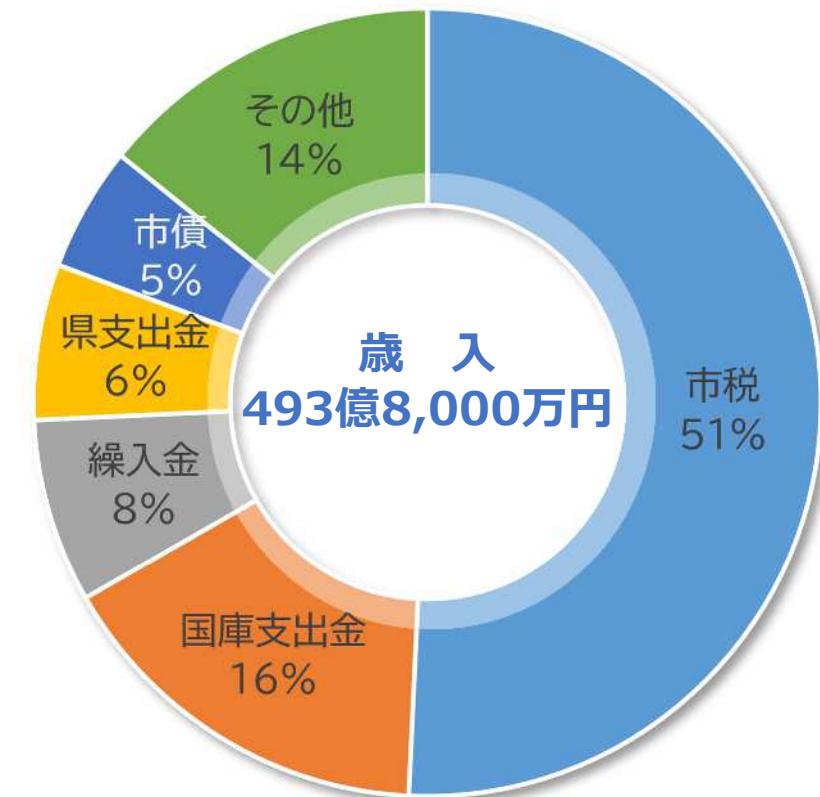
会計名	令和8年度	前年度比	増減率	増減理由
病院事業	78億8,636万円	2億3,056万円	3.0%	給与費・委託料及び資産購入費の増加
水道事業	36億3,553万円	4,150万円	1.2%	人件費及び資材費の上昇に伴う工事・委託費用の増加
下水道事業	48億1,877万円	△1億6,228万円	△3.3%	芦屋下水処理場整備費の減少
合　　計	163億4,066万円	1億978万円	0.7%	

財産区会計

会計名	令和8年度	前年度比	増減率	増減理由
打出・芦屋	1,100万円	100万円	10.0%	視察に要する旅費の増加
三条・津知	260万円	10万円	4.0%	－
合　　計	1,360万円	110万円	8.8%	

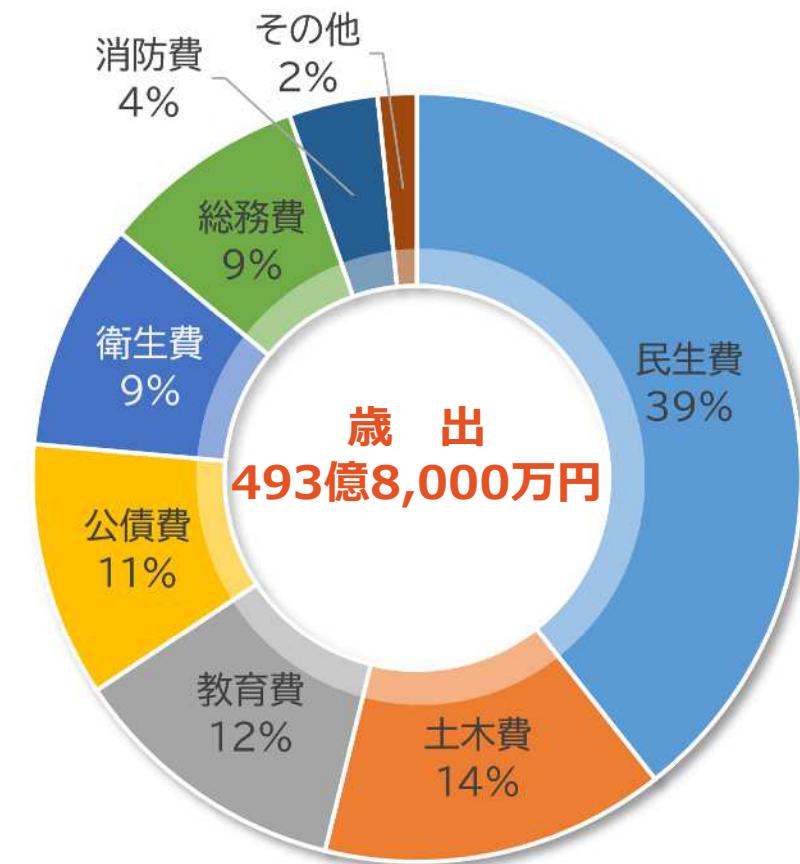
一般会計 歳入予算(概要)

	8年度	増減額 (増減率)	主な増減理由
市税	250億7,009万8千円	7億3,670万円 (3.0%)	—
市民税	143億3,608万5千円	6億4,248万9千円 (4.7%)	個人市民税の給与所得の增加
固定資産税	82億4,786万2千円	8,825万8千円 (1.1%)	家屋の新增築分等による增加
都市計画税	20億8,010万2千円	2,451万7千円 (1.2%)	
その他	4億604万9千円	▲1,856万4千円 (▲4.4%)	市たばこ税の減少
国庫支出金	79億1,687万2千円	5,663万9千円 (0.7%)	道路交通安全対策事業費補助金の増加
繰入金	36億8,500万8千円	▲4億660万円 (▲9.9%)	財政基金取りくずしの減少
県支出金	31億5,515万円	2億4,222万円 (8.3%)	給食費負担軽減交付金の皆増
市債	25億3,150万円	▲3億40万円 (▲10.6%)	臨時財政対策債(借換債)の皆減
その他	70億2,137万2千円	▲1億655万9千円 (▲1.5%)	デジタル基盤改革支援補助金の皆減
合計	493億8,000万円	2億2,200万円 (0.5%)	



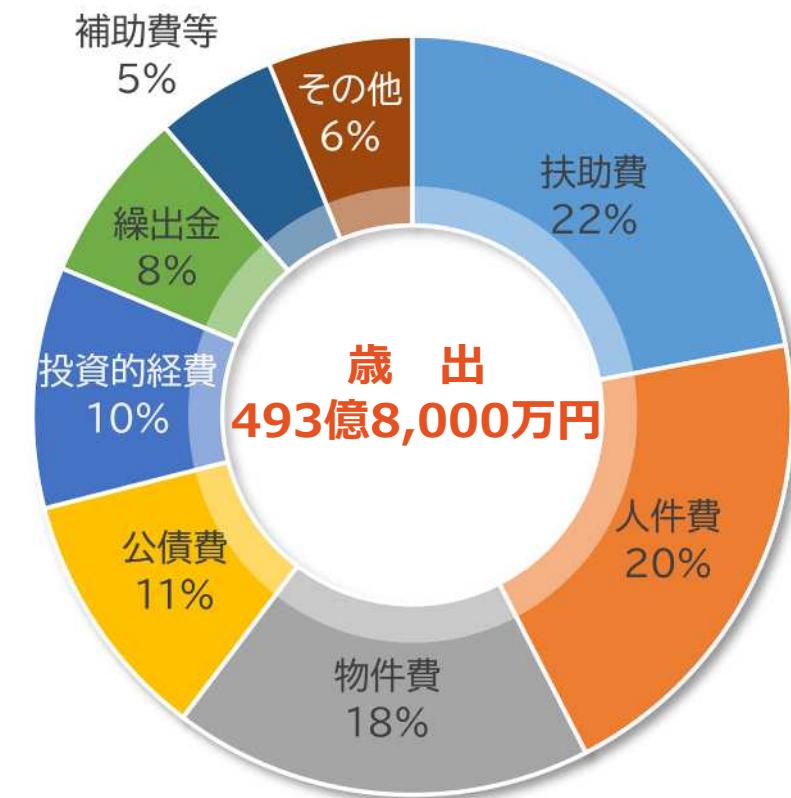
一般会計 目的別歳出予算(概要)

	8年度	増減額 (増減率)	主な増減理由
民生費	194億3,589万9千円	2億1,280万4千円 (1.1%)	障害者総合支援法介護給付費及び私立認定こども園に要する経費の増加
土木費	71億5,101万5千円	7億2,993万9千円 (11.4%)	第一跨線橋撤去事業に要する経費の増加
教育費	58億3,713万6千円	▲3億7,257万7千円 (▲6.0%)	中学校施設整備事業費及び学校ICT環境整備事業費の減少
公債費	53億122万円	▲3億4,954万5千円 (▲6.2%)	市債償還元金の減少
衛生費	47億4,399万7千円	3億397万6千円 (6.8%)	上水道事業助成費の増加
総務費	42億5,565万6千円	▲3億7,638万5千円 (▲8.1%)	基幹業務の情報システム標準化に要する経費の減少
消防費	18億4,745万8千円	8,271万7千円 (4.7%)	消防車両購入費及び梯子自動車分解整備費の増加
その他	8億761万9千円	▲892万9千円 (▲1.1%)	—
合計	493億8,000万円	2億2,200万円 (0.5%)	



一般会計 性質別歳出予算(概要)

	8年度	増減額 (増減率)	主な増減理由
扶助費	108億8,996万円	2億8,408万6千円 (2.7%)	障害者総合支援法介護給付費及び私立認定こども園に要する経費の増加
人件費	100億6,812万円	2億622万2千円 (2.1%)	人事院勧告等に基づく給料表改定及び退職手当の増加
物件費	88億2,760万1千円	▲5億4,646万7千円 (▲5.8%)	基幹業務の情報システム標準化に要する経費及び学校ICT環境整備事業費の減少
公債費	53億121万9千円	▲3億4,954万5千円 (▲6.2%)	市債償還元金の減少
投資的経費	50億7,603万5千円	2億2,691万2千円 (4.7%)	第一跨線橋撤去事業に要する経費の増加
繰出金	36億4,887万5千円	▲487万1千円 (▲0.1%)	都市再開発事業特別会計繰出金の減少
補助費等	24億4,085万3千円	▲1億1,795万9千円 (▲4.6%)	物価高騰対応重点支援給付金の皆減
その他	31億2,733万7千円	5億2,362万2千円 (20.1%)	上下水道事業助成費の増加
合計	493億8,000万円	2億2,200万円 (0.5%)	



令和8年度

主な事業

各事業の概要における表示マーク



『何歳になっても生き生きと活躍できる芦屋』の実現に向け、事業を実施します。



環境計画に定める自然共生、脱炭素、資源循環の実現に向け、事業を実施します。



『圧倒的に子育てしやすい芦屋』の実現に向け、事業を実施します。



防災力の強化のため、事業を実施します。



『最高の学びができる芦屋』の実現に向け、事業を実施します。



いつまでも住みづけたいまちの実現に向け、事業を実施します。

子育て・教育

こども誰でも 通園制度



RSウイルスワクチン定期接種



のびのび学級

- | | |
|---|---------------------------|
| こども誰でも通園制度が利用できるようになります | ほいく課
2,449万円 |
| 大東保育所の建替え工事の建設費を助成します | ほいく課
3億363万7千円 |
| すべての妊婦の方がRSウイルスワクチンを自己負担なく接種できるようになります | こども家庭・保健センター
1,512万9千円 |
| 産婦健康診査の費用について助成が受けられるようになります | こども家庭・保健センター
512万8千円 |
| 学校園に庶務管理システムを導入します | 教職員課
2,165万5千円 |
| 学校園ネットワークシステムの更新により、セキュリティ向上と、教職員等の多様な働き方を実現します | 打出教育文化センター
1億5,585万2千円 |
| 探究的な学び研究推進チーム「ONE STEPpers」による授業研究を推進します | 学校教育課
381万5千円 |
| 校内サポートルームをリニューアルします | 学校支援課
990万円 |
| のびのび学級の開室時間を延長し、児童生徒へのサポートを強化します | 学校支援課
1,590万8千円 |
| 小学校のトイレ、外壁などを改修します | 管理課
4億1,429万円 |
| 小学校の空調を更新します | 管理課
1億5,097万3千円 |
| 中学生が地域クラブに参加し、スポーツや文化芸術活動に継続的に親しめるようにします | 学校支援課
4,804万円 |
| 国指定史跡会下山遺跡を大切に守り継ぎ、活用できるよう、保存活用計画の策定等に取り組みます | 国際文化推進課
1,164万2千円 |

図書館

63万3千円

市民センター

8,124万7千円

保健安全・特別支援教育課

2億5,062万円

保健安全・特別支援教育課

8,903万4千円

教職員課

1,097万円

道路・公園課

5,667万8千円

障がい福祉課

50万円

高齢介護課

9,870万4千円

高齢介護課

1,280万円

高齢介護課

500万円

生活援護課 / 道路・公園課

106万9千円

警防課

2,630万円

警防課 / 消防署高浜分署

2億682万2千円

防災安全課

200万円



学校給食(小学校)

福祉・防災



終活相談事業



はしご付き消防自動車

みらいの都市づくり



PPA方式による太陽光発電設備導入



市営大東町住宅をリノベーション
～いい家あった！プロジェクト～

その他の 重要なとりくみ

- 公共施設へPPA方式により太陽光発電設備を導入します 環境課 6,657万円
- 本・古着の交換会や3Rイベント等を市民団体等と協働します 環境施設課 243万6千円
- プラスチック分別収集の取組を進めるための調査・検討を行います 環境施設課 847万1千円
- パイプライン施設の代替収集案について実証実験を行います 環境施設課 1,866万5千円
- DX行革推進課
- 地域が主体となったまちの魅力向上の取組を支援します 都市政策課 150万円
- 阪神芦屋駅周辺の都市機能の課題解消と更新に関する調査や検討を行います 都市政策課 1,496万3千円
- 乗合タクシーの試験的運行の継続や検証、他地域への導入の可能性を検討します 基盤整備課 1,811万6千円
- 老朽化した公園施設を更新します 道路・公園課 9,550万円
- 芦屋川沿いのサクラ健全度調査を実施します 建築住宅課 100万円
- 住宅の取得・家賃を支援します ～いい家あった！プロジェクト～ 建築住宅課 1,550万円
- 市営大東町住宅をリノベーションして有効活用します ～いい家あった！プロジェクト～ 建築住宅課 1,500万円
- JR芦屋駅南地区が生まれ変わります 都市整備課 19億7,462万6千円
- 複数課あり
- 公共施設及び公益灯の照明をLED化します 国際文化推進課 2億1,519万1千円
- 姉妹都市提携65周年を記念し、モンテベロ市と相互に訪問をします DX行革推進課 516万5千円
- 生成AIの更なる業務活用と基盤整備も見据えた業務再構築を実現します DX行革推進課 770万3千円
- 来庁者に分かりやすく、職員が働きやすい市役所を目指します DX行革推進課 2,178万円

新規



(款)03民生費 (項)03児童福祉費 (目)02保育所費

こども誰でも通園制度が利用できるようになります

全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度です。

内 容

○対象者

保育所、認定こども園等に通っていない0歳6か月から
満3歳未満の子ども

○利用時間／月

1人の子どもにつき、10時間／月まで

○利用料

300円／時間

○市内実施施設

市立：精道こども園、緑保育所

私立：7施設が申請中

予算額

2,449万円

国 県	地方債	その他	一般財源
746万5千円		50万4千円	1,652万1千円

こども**誰**でも
通園制度

新規



(款)03民生費 (項)03児童福祉費 (目)06児童福祉対策費

大東保育所の建替え工事の建設費 を助成します

予算額

3億363万7千円

国 県	地方債	その他	一般財源
2億242万5千円	7,590万円		2,531万2千円

就学前教育・保育施設整備交付金を活用し、大東保育所の建替え工事の建設費の助成を行います。建替え後、令和9年4月に大東こども園(仮称)を開園予定です。

内 容

大東保育所は老朽化に伴い、建替えを実施します。

建替え後は認定こども園として、就学前のこどもが利用できるようになります。

なお、建替え中は旧新浜保育所で保育を実施します。

【スケジュール(予定)】

- 令和8年4月 解体工事着工
- 令和8年6月 解体工事完了
- 令和8年8月 建設工事着工
- 令和9年2月 竣工
- 令和9年4月 開園



新規



(款)04衛生費 (項)01保健衛生費 (目)02予防費

すべての妊婦の方がRSウイルスワクチン
を自己負担なく接種できるようになります

予算額

1,512万9千円

国 県

地方債

その他

一般財源

1,512万9千円

国の方針に基づき、新生児及び乳児のRSウイルス感染予防のため、妊婦の方を対象としたRSウイルスに対する母子免疫ワクチンの定期接種を実施します。

内 容

- 対象者 妊娠28週から37週に至るまでの方
- 自己負担 なし
- 開始時期 令和8年4月1日

参 考

RSウイルス感染による症状は、軽い風邪の症状から重い肺炎まで
様々あり、特に、乳児期早期(生後数週間から数か月間)は、肺炎等
の下気道感染症に至る場合があります。



新規



(款)04衛生費 (項)01保健衛生費 (目)04保健センター費

産婦健康診査の費用について助成 が受けられるようになります

予算額

512万8千円

国 県

地方債

その他

一般財源

250万円

262万8千円

これまでの産後ケア事業の拡充に加え、産後うつや新生児への虐待の予防等を図る観点から、産後2週間、産後1か月などの出産後間もない時期に行う産婦健康診査費用について助成を行います。

内 容

- 目的
 - ・母体の身体的機能の回復、授乳状況及び精神状態の把握等、母子の健康管理を促します。
 - ・支援の必要な母子を把握し適切な支援につなぐことで、母子の健康の保持・増進と自殺予防対策及び虐待予防につなげます。

- 助成額 上限5,000円/回(2回まで助成)



新規



(款)10教育費 (項)01教育総務費 (目)02事務局費

学校園に庶務管理システムを導入します

予算額		2,165万5千円	
国 県	地方債	その他	一般財源
			2,165万5千円

時間外在校時間削減に対する意識向上を図るとともに、教職員の勤怠管理や休暇・出張申請等について、校務DXを推進するため、学校園に庶務管理システムを導入します。

内 容

学校園のネットワークシステムの更新により、職員室以外でも業務ができる環境が構築されるのに併せて、勤怠管理をシステム化します。

教職員の時間外在校時間を正確かつリアルタイムに把握し、教職員の業務量の適切な管理と健康及び福祉の確保を図ります。

教職員の休暇や出張等の申請を電子化し、既存の校務支援システムと連携させることで、職員のスケジュールの見える化、学校日誌の自動作成等を実施し、さらなる業務の効率化を目指します。



紙からICTへ

働き方改革・時間外
在校時間削減

業務効率アップ

継続



学校園ネットワークシステムの更新により、セキュリティ向上と、教職員等の多様な働き方を実現します

学校園のネットワークシステムを更新することで、強固な情報セキュリティを確保するとともに、教職員の多様な働き方を実現します。

内 容

次期システムでは、複雑化するサイバー攻撃に対応するよう、あらゆる情報の機密性・完全性・可用性を確保します。また、教職員等の多様な働き方実現のために、職員室以外でも業務ができる環境を構築します。

年 度	構築費用	保守費用
令和7年度	7,965万円	
令和8年度	9,858万3千円	5,726万9千円
令和9年度～令和13年度		2億6438万6千円

(款)10教育費 (項)01教育総務費 (目)03教育指導研究費

予算額	1億5,585万2千円		
国 県	地方債	その他	一般財源
			1億5,585万2千円



継続



探究的な学び研究推進チーム「ONE STEPpers」による授業研究を推進します

令和5年8月に策定した芦屋市教育大綱において、目指す教育像として掲げた「『ちょうどの学び』とそれを支える環境づくり」を実現するための事業を実施します。

内 容

- 先進的な学校にONE STEPpersの教員を1週間派遣し、実践の学びや、有識者による指導・助言により、教職員自身の主体的な研究の推進を図ります。
- 企業等との連携を強化し、授業開発をはじめとした指導主事伴走型の研究を一層推進します。
- ONE STEPpersに新たに市立幼稚園の教員の参加を募り、小・中学校との連携や学びの連続性を意識した保育・授業研究を進めます。

(款)10教育費(項)01教育総務費(目)03教育指導研究費

予算額

381万5千円

国 県	地方債	その他	一般財源
			381万5千円



子どもの主体性を高める
授業の様子(中学校)



企業と連携した授業の様子



遊びの中で夢中になって
探究する様子(幼稚園)

新規



(款)10教育費 (項)01教育総務費 (目)03教育指導研究費

校内サポートルームをリニューアルします

予算額 990万円

国 県	地方債	その他	一般財源
		990万円	

学校内に設置されており、児童生徒が様々な相談や支援を受けられる「校内サポートルーム」に通う子どもたちにとって、より安心して過ごし、学びに向かう空間となるよう、校内サポートルームをリニューアルします。

※ 教育振興基金(ふるさと寄附金)を活用して実施

内 容

校内サポートルームが、以下の3つの機能を備えた場所となることを目指し、学校ごとの状況に応じて、必要な備品等を新たに配備しながら、レイアウトを整えます。

【機能内容】

- ① 個別で学ぶスペース
- ② 集団で学ぶスペース
- ③ リラックスして過ごすスペース



拡充



のびのび学級の開室時間を延長し、児童生徒へのサポートを強化します

(款)10教育費 (項)01教育総務費 (目)03教育指導研究費

予算額

1,590万8千円

国 県

地方債

その他

一般財源

1,590万8千円

のびのび学級を選択することもたちが、午前・午後を問わずに学習や体験活動ができるよう、今より幅広い時間帯を確保することで、児童生徒へのサポートをより一層充実していきます。

内 容

- 開室時間を、1時間延長します。
現 行:9:30~13:30
変更後:9:30~14:30
- 延長することにより、これまで短時間であった午後の活動に、学習や体験活動の時間を加えることが可能となり、こどもたちの学びに向かう意欲の向上や通いやすさにつながります。



更新



(款)10教育費 (項)02小学校費 (目)03学校建設費

小学校のトイレ、外壁などを改修します

予算額

4億1,429万円

国 県	地方債	その他	一般財源
7,406万6千円	2億5,510万円		8,512万4千円

山手小学校・岩園小学校のトイレをきれいにします。
岩園小学校の外壁や屋上などを改修します。

内 容

【トイレ改修(山手小学校及び岩園小学校)】

和式と洋式が混在している便器を全て洋式へ統一し、床を湿式から乾式へ改修することで、衛生環境の向上を図ります。
岩園小学校は規模を考慮し、2期(2か年)に分けて行います。



【外壁及び屋上防水改修(岩園小学校)】

外壁のひび割れ部の補修や塗り替え、屋上の防水改修を行うことで、施設の長寿命化を図ります。



更 新



(款)10教育費 (項)02小学校費 (目)03学校建設費

小学校の空調を更新します

予算額

1億5,097万3千円

国 県	地方債	その他	一般財源
3,739万円	7,700万円		3,658万3千円

打出浜小学校の教室等の空調は設置から16年、朝日ヶ丘小学校は21年が経過し、老朽化が進んでいるため、更新します。

精道小学校の体育館空調は設置から18年、宮川小学校は12年が経過し、老朽化が進んでいるため、更新に向け、設計業務委託を実施します。

内 容

学 校	場 所
打出浜小学校	普通教室、理科室等
朝日ヶ丘小学校	普通教室、給食室等
精道小学校及び宮川小学校	体育館(設計業務委託のみ)



打出浜小学校



朝日ヶ丘小学校

子育て・教育

新規



(款)10教育費 (項)03中学校費 (目)02教育振興費

中学生が地域クラブに参加し、スポーツや文化芸術活動に継続的に親しめるようになります

令和8年度中に市立中学校の部活動が終了し、地域クラブによる活動(地域展開)がスタートします。こどもたちにとってよりよい活動となるよう、取組を進めます。

内 容

警備員配置	1,407万4千円	放課後や休日に中学校施設で地域クラブが安全に活動できる環境を整えるため、警備員の配置や防犯カメラの設置により安全対策を強化するほか、屋外活動に必要な簡易照明を配置します。
防犯カメラ設置	165万円	
照明器具設置等	346万5千円	
業務委託	2,405万1千円	地域クラブ活動を充実させるため、地域クラブや中学校等との調整窓口となる業務委託を進めます。あわせて、経済的困窮世帯の生徒を対象に参加費を補助し、誰もが参加しやすい体制を整えます。
参加費助成	480万円	

予算額

4,804万円

国 県

地方債

その他

一般財源

4,804万円

これまでより多くの選択肢
自由な参加の形で



子育て・教育

新規



国指定史跡会下山遺跡を大切に守り継ぎ、
活用できるよう、保存活用計画の策定等に
取り組みます

(款)10教育費 (項)06社会教育費 (目)02社会教育事業費

予算額

1,164万2千円

国 県	地方債	その他	一般財源
225万円		45万7千円	893万5千円

国指定史跡会下山遺跡(三条町)をこれからも積極的に保存し活用できるよう、史跡保存活用計画の策定に取り組みます。また、国史跡に指定されてから15周年であることから、記念フォーラムを開催し、その多様な価値や魅力を改めて発信します。

内 容

令和7年度に本市が史跡の管理団体になったため、令和8年度から2年をかけて保存活用計画を策定します。

国史跡指定15周年記念フォーラムでは、専門家による講演の後、さまざまな視点から会下山遺跡の価値や魅力について考え、意見を交換します。

参 考

会下山遺跡は、弥生時代(約2,000年前)の高地性集落跡で、昭和30年代に発掘調査を実施しています。



国指定史跡会下山遺跡

新規



(款)10教育費 (項)06社会教育費 (目)05図書館費

寄贈資料の書誌情報を登録し、図書館資料の充実を図ります

予算額

63万3千円

国 県

地方債

その他

一般財源

63万3千円

芦屋市サッカー協会から、故・賀川浩氏(FIFA会長賞受賞、芦屋市民文化賞受賞)の所蔵資料をご寄贈いただき、芦屋市立図書館特別コレクションに加えるため、書誌情報を図書館システムに登録し、図書館資料の充実を図ります。

参考

1 現在の特別コレクション

- ① 田尾スポーツ文庫 資料数 1,271点
故・田尾栄一氏が収集したスポーツ全般にわたる研究書・記録・報告書など
- ② 松本幸雄バスケットボール文庫 695点
故・松本幸雄氏が収集したバスケットボールに関する研究書・指導書・試合の新聞スクラップ帳など

2 書誌情報

資料を特定するための情報(書名、著者名、出版社、発行年、ページ数、ISBN(国際標準図書番号)など)



芦屋市立図書館

更 新



(款)10教育費 (項)06社会教育費 (目)08市民会館費

ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール (大ホール)の音響設備を更新します

予算額

8,124万7千円

国 県	地方債	その他	一般財源
	6,090万円		2,034万7千円

ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホールは、音楽、演劇、講演会など文化芸術の振興を通じて多くの方にご利用いただいています。舞台効果を高めるため、老朽化した音響調整卓・パワーアンプを更新します。

内 容

ホール音響調整卓・パワーアンプ更新

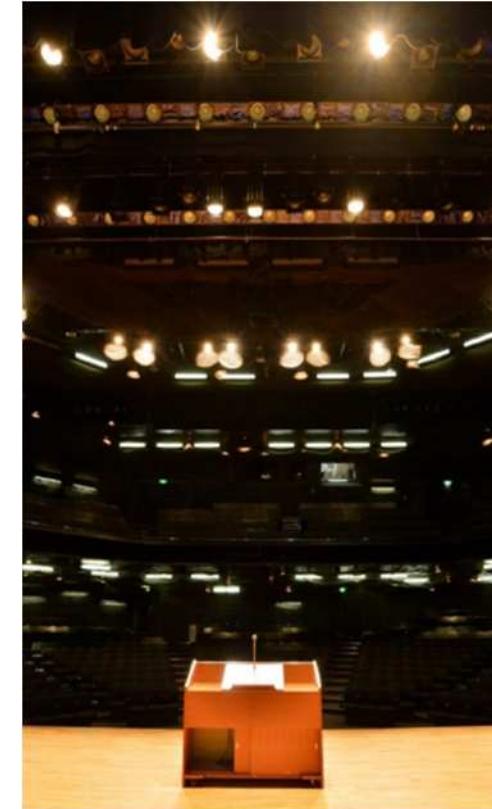
期 間

令和9年1月予定

※工事期間は2週間ほどを予定しており、
その間ホールを休館します。



音響調整卓



舞台からみた大ホール客席

拡充



(款)10教育費 (項)07保健体育費 (目)02学校給食費

予算額

2億5,062万円

国 県	地方債	その他	一般財源
2億3,320万4千円		1,741万6千円	

小学校給食費の抜本的な負担軽減をします

子育て支援として、国が創設する「給食費負担軽減交付金」を活用して、令和8年4月より小学校学校給食費の抜本的な負担軽減を図ります。

参考

- 小学校給食費の保護者負担額を、一食あたり343円から24円に見直します。
- 今後も手作りで安心・安全な質の高い「芦屋の給食」を提供してまいります。



拡充



(款)10教育費 (項)07保健体育費 (目)02学校給食費

予算額 8,903万4千円

国 県	地方債	その他	一般財源
			8,903万4千円

市立中学校での学校給食提供回数を増やします

こどもたちの望ましい食生活の向上・保護者の負担軽減のため、市立中学校での学校給食提供回数を増やします。

参考

令和8年度は、令和7年度と比較して、各中学校およそ5回程度増やす予定ですが、各校のカリキュラムによって異なる場合があります。



新規



(款)10教育費(項)02小学校費(目)01学校管理費
(款)10教育費(項)03中学校費(目)01学校管理費

予算額 1,097万円

国 県	地方債	その他	一般財源
			1,097万円

市立学校に教頭業務センターを配置します

教頭が担っている事務的な業務を行う教頭業務センターを配置します。教頭が管理職としての業務に集中できる環境を整え、教頭自身及び教職員全体の業務改善を図ります。

内 容

朝の時間帯に教頭業務センターを配置し、事務的な業務を移管することで、教職員の中でも特に時間外在校時間の多い教頭の負担軽減を図ります。

教職員のマネジメントなど、管理職としての本来の業務に集中できる環境を整え、教職員全体の業務改善やこどもたちへの指導・支援の充実につなげます。



更新



防犯カメラ機器の更新を行います

(款)02総務費 (項)01総務管理費 (目)01一般管理費

予算額

5,667万8千円

国 県

地方債

その他

一般財源

5,667万8千円

市民の日常生活の安全を確保するため、市内に設置した防犯カメラのうち耐用年数を迎える機器の更新を行います。

内 容

市内に設置した防犯カメラのうち耐用年数を迎える機器について更新を行います(令和6年度に更新した80台を除く)。

令和6年度及び令和8年度の実施により、市が設置しているすべての防犯カメラの更新が完了します。



福祉・防災

拡充



(款)03民生費 (項)01社会福祉費 (目)03障害者福祉費

日常生活用具の給付対象用具に「人工呼吸器の非常用電源装置」を追加します

予算額
50万円

国 県	地方債	その他	一般財源
21万円			29万円

近年、各地で自然災害が多発しているため、人工呼吸器を使用している人に停電時の備えとして人工呼吸器の非常用電源装置を用意していただくことで、ご本人やそのご家族の不安の軽減を図ります。

内 容

在宅で人工呼吸器を使用している人に、人工呼吸器用自家発電器かポータブル電源・外部バッテリーを給付します。
※ 身体障害者手帳の障がい等級などの給付要件があります。

基準額

10万円

※ 世帯の課税状況により自己負担が発生します。
※ 商品の金額が10万円を超える場合は、超えた分の金額が自己負担の金額に上乗せされます。



※ イメージ

福祉・防災

継続



(款)03民生費 (項)02老人福祉費 (目)02老人福祉事業費

高齢者バス運賃助成事業の助成割合を見直し、持続可能な制度にします

70歳以上の市民の方が、市内を走る阪急バスに半額で乗車できる事業ですが、年間1億円弱の予算がかかっていることが課題となっており、今後も予算の増加が見込まれています。そのため、事業の存続に対して、助成額を制限しても助成の継続を望む意見を多数いただいたことを踏まえて、助成割合を5割から3割に見直したうえで、事業を引き続き実施します。

内容

■助成割合の見直しに伴う市民負担額

期間	現在	見直し後
助成割合	5割	3割
市民負担額	130円	180円

※1 助成割合変更は令和8年10月1日予定

※2 みなと観光バス乗車時の運賃助成は、半額助成から運賃の100円引きに見直し(現金支払い時のみ)

予算額

9,870万4千円

国 県	地方債	その他	一般財源
	1,130万4千円		8,740万円



(市内を運行する阪急バスに限る)

有効期限 2019年03月31日まで

交付番号 14030013906

生年月 1940年01月

上記交付番号対象者のみ有効

見本

2014年03月07日 芦屋市福祉部高齢介

見本

芦屋市高齢者バス運賃割引証

みなと観光バス の一部の路線で使えます
[123系統・125系統・126系統]

有効期限 2026年3月31日まで

交付番号 02171 上記交付番号対象者のみ有効

ご署名



高齢介護課 ☎0797-38-2044

新規



(款)03民生費 (項)02老人福祉費 (目)02老人福祉事業費

はんきゅうグランドパス70購入代金の助成を開始します

予算額

1,280万円

※高齢者バス運賃助成事業に含む

国 県	地方債	その他	一般財源
			1,280万円

市内の阪急バスだけでなく、阪神バスの一般路線などでも利用可能な定期券である「hanicalはんきゅうグランドパス70」購入代金への助成を開始し、先輩世代の市民の皆さまの幅広い活動・活躍を支援します。

内 容

■はんきゅうグランドパス70購入代金助成額
はんきゅうグランドパス70(期間1年)購入代金の3割を助成します。
(期間半年のグランドパス70の場合は、期間1年の定期代金の助成額の半額を助成します。)

期間	グランドパス70購入代金	助成額
1年	53,600円	16,000円
6か月	29,700円	8,000円

(※グランドパス70購入代金は令和8年1月末現在時点)

見本



福祉・防災

新規



(款)03民生費 (項)02老人福祉費 (目)02老人福祉事業費

終活相談事業を開始します

予算額

500万円

国 県	地方債	その他	一般財源
			500万円

身寄りのない高齢者の方が増える中、将来のことを1人で悩まず、安心して暮らしつづけていただくため、権利擁護支援センターの機能を拡充し、終活相談事業を始めます。生活の整理などについて丁寧にお話を伺い、それぞれの思いに寄り添った支援を行います。

内 容

- 場所:権利擁護支援センター(保健福祉センター内)
- 時期:令和8年10月~
- 主な事業内容
 - ・終活に関する個別の相談支援
 - ・状況に合わせた関係機関へのご案内
 - ・必要な知識が得られる講座の開催
 - ・身寄りのない人等への支援ネットワークの構築 等



福祉・防災

新規



震災慰靈碑に解説板を設置し、併せて周囲の改修を行います

(款)03民生費 (項)05災害救助費 (目)05災害救助費
(款)08土木費 (項)04都市計画費 (目)05公園緑地費

予算額

106万9千円

国 県	地方債	その他	一般財源
			106万9千円

阪神・淡路大震災から30年の節目を超え、当時の記憶や教訓を風化させることなく次世代に語り継ぐため、芦屋公園内の震災慰靈碑「阪神・淡路大震災慰靈と復興のモニュメント」に解説板を設置します。また、周囲の石畳や植栽を改修します。

内 容

震災慰靈碑の解説板設置を通じ、通行者や震災学習で訪れる次世代を担うこどもたちが当時の状況を理解し、震災犠牲者への祈りと防災意識を高められる環境を整備します。

参 考

- ・解説板の設置に係る費用 43万5千円
- ・周囲の公園施設改修に係る費用 63万4千円



福祉・防災

更新



火災に備えて防火水槽の更新工事を実施します

(款)09消防費 (項)09消防費 (目)01常備消防費

予算額

2,630万円

国 県	地方債	その他	一般財源
	2,480万円		150万円

地震等の大規模な災害時において、消防活動に必要不可欠な水利源である防火水槽のうち、経年劣化により老朽化した防火水槽の耐震化を含めた更新を行います。

内 容

南宮公園防火水槽(40t)1基

地震等で消火栓が破損した場合でも、防火水槽の水を使用し、約40分間継続した放水活動が実施できます。



福祉・防災

更 新



(款)09消防費 (項)09消防費 (目)01常備消防費

予算額

2億682万2千円

国 県	地方債	その他	一般財源
	1億2,520万円	110万円	8,052万2千円

消防ポンプ自動車と資機材搬送車の更新及びはしご付き消防自動車のオーバーホールを実施します

火災等各種事案に対応するため、消防署に配備している消防ポンプ自動車2台及び資機材搬送車の更新(1億6,239万4千円)を行います。また、安全・安心な消防活動を維持するため、はしご付き消防自動車のオーバーホール(4,442万8千円)を実施します。



消防ポンプ自動車・資機材搬送車



はしご付き消防自動車

福祉・防災

拡充



(款)09消防費 (項)09消防費 (目)04災害対策費

地域防災推進事業補助金の対象にマンションを追加します

予算額 200万円

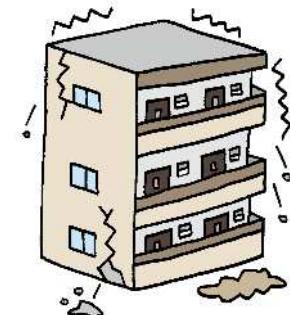
国 県	地方債	その他	一般財源
			200万円

これまで地域防災推進事業補助金(自主防災組織育成事業補助金)について、自主防災組織のないマンションは支給対象外でしたが、市全体の防災意識向上、防災活動促進のため、補助対象と対象部分の事業費(補助金:100万円)を拡大します。

内 容

■対象マンションの要件

- ①分譲マンションで、管理組合及び管理規約があり、総会を年間で1回以上行っていること。
- ②階数が3以上(地下階を除く。)、戸数が10戸以上かつ新耐震基準の建物であること。
- ③防災資器材を購入した場合は、購入後原則1年以内に当該資機材を活用した防災訓練を実施すること。
- ④災害時に避難者を受け入れるよう努めること。



■対象経費・補助金額

- ① 防災訓練等の防災活動 【上限2万円】
- ② 資機材活用した防災活動 【上限5万円】
- ③ 地区防災計画策定更新活動 【上限5万円】



みらいの都市づくり

新規



(款)04衛生費 (項)01保健衛生費 (目)03環境衛生費

公共施設へPPA方式により太陽光発電設備を導入します

予算額 6,657万円

国 県	地方債	その他	一般財源
6,657万円			

2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ」の取組のひとつとして、二酸化炭素の排出が少ない太陽光発電設備をオンサイトPPA方式により公共施設の屋根に設置します。

内 容

オンサイトPPA(電力購入契約)とは「市が太陽光発電設備を設置・所有するのではなく、PPA事業者が設備を設置して発電した電気を、決められた単価で市が購入して使う」仕組みです。

初期費用不要で太陽光発電設備を設置をすることができ、事業期間(20年間)は設備のメンテナンス費用が不要となるほか、電気料金を固定単価で契約するため、電気料金の高騰の影響を受けなくなります。

対象施設

南芦屋浜下水処理場及び学校3施設を予定しています。



みらいの都市づくり

拡充



(款)04衛生費 (項)02清掃費 (目)01じん芥処理費

本・古着の交換会や3Rイベント等を
市民団体等と協働します

予算額

243万6千円

国 県	地方債	その他	一般財源
			243万6千円

リユース・リサイクルにつなげる場である本・古着の交換会をベースに3Rイベント等を市と市民団体等が協働することに加え、資源回収品目を増やします。3Rの多様な活動を広げ市民レベルでの活動の浸透を図ることで、廃棄物の減量化・資源化を推進します。

内 容

- ・本・古着の交換会を市民団体等と連携し、定期的に実施
- ・市民団体等が提案実践する市民同士が「ついでの交流」ができるような3Rイベント(リメイクやアップサイクル含む)を開催
- ・「ごみとして廃棄していたものを資源として持込みできる」資源回収品目を増やし、拠点回収の利用を促進



みらいの都市づくり

新規



(款)04衛生費 (項)02清掃費 (目)01じん芥処理費

プラスチック分別収集の取組を進めるための調査・検討を行います

予算額

847万1千円

国 県

地方債

その他

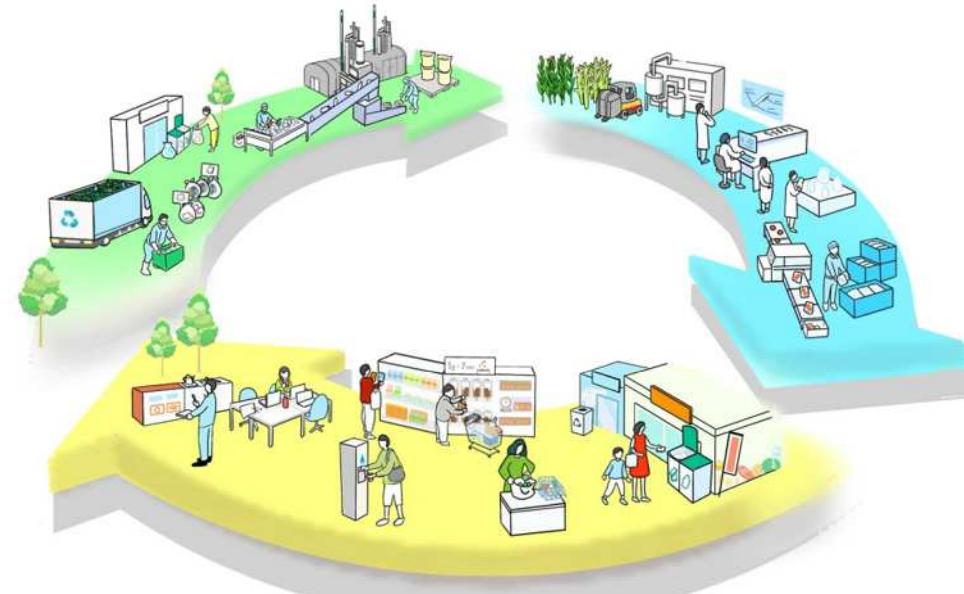
一般財源

847万1千円

プラスチック分別収集の実施に向け、効果的・効率的なごみ収集・運搬・処分に係る方法を総合的に検討するため、国や先進自治体の事例を調査しながらデータの整理や具体的な移行方法の検討を行います。

内 容

- ・プラスチック使用製品廃棄物の排出量や想定される収集量などを推計します。
- ・移行スケジュール、事業スキーム、モデル事業等の検討を行います。



プラスチックは
えらんで、減らして、リサイクル

みらいの都市づくり

新規



(款)04衛生費 (項)02清掃費 (目)01じん芥処理費

パイプライン施設の代替収集案について 実証実験を行います

予算額 1,866万5千円

国 県	地方債	その他	一般財源
			1,866万5千円

運用期間が定められているパイプライン施設について、将来を見据えた新たなゴミ収集方法を検討する必要があります。パイプライン施設の代替収集案に関する利便性や負担感、運用面での課題等を把握することを目的に実証実験を実施します。

内 容

住宅形態ごとに3種類の代替案を1案につき約1か月利用し、合計3か月間実施します。

パイプライン施設に代わる新しいゴミの出し方を

みんなで考えよう

参 考

予定運用期間

- 芦屋浜地区:令和20年度末を限度として運用終了
- 南芦屋浜地区:令和32年度末を限度として運用終了



みらいの都市づくり

新規



地域が主体となったまちの魅力向上の取組を支援します

(款)08土木費 (項)04都市計画費 (目)01都市計画総務費

予算額

150万円

国 県

地方債

その他

一般財源

150万円

ブランディングエリアにおいて、地域の自治会や事業者、大学、行政など多様な主体で組織された「あしやエリアプラットフォーム」が、未来ビジョンの実現に向けて取り組んでいます。行政として、地域が主体となった取組を支援します。

内 容

JR芦屋駅から阪神芦屋駅までのブランディングエリアでは、回遊性の向上、まちの魅力向上につなげようと策定を進めている未来ビジョンの実現に向け、「あしやエリアプラットフォーム」が中心となって、道路や公園などの公共空間を活用した社会実験が行われます。これらの取組が、地域による持続可能な取組になるよう、行政として支援します。



みらいの都市づくり

継 続



(款)08土木費 (項)04都市計画費 (目)01都市計画総務費

阪神芦屋駅周辺の都市機能の課題解消と更新に関する調査や検討を行います

予算額

1,496万3千円

国 県	地方債	その他	一般財源
			1,496万3千円

将来にわたり誰もが安心して快適に暮らし続けられるまちの実現に向け、都市機能が集まる拠点の更新と住宅地との円滑なネットワークによる都市構造の形成を目指し、今後の都市整備の方向性を定めるための調査・検討を進めます。

内 容

目指す都市づくりの実現には、都市機能が集まる拠点の再整備による機能の更新を図ることが効果的です。都市内や都市間の移動を支える交通機能、総合的な行政機能を有する中心拠点である阪神芦屋駅周辺は、交通環境や利用のしやすさ、施設の配置や更新などに課題があります。これらの課題を解決し、都市機能や生活サービスの充実・更新につながるまちづくりの方向性を検討するとともに、都市基盤や駅周辺の交通機能についての対応策を検討します。



みらいの都市づくり

継続



(款)08土木費 (項)04都市計画費 (目)01都市計画総務費

乗合タクシーの試験的運行の継続や検証、他地域への導入の可能性を検討します

予算額

1,811万6千円

国 県	地方債	その他	一般財源
		96万8千円	1,714万8千円

安全・安心に住み続けられるまちを目指し、生活に必要な移動が不安なくできる交通環境を作る取組を進めます。

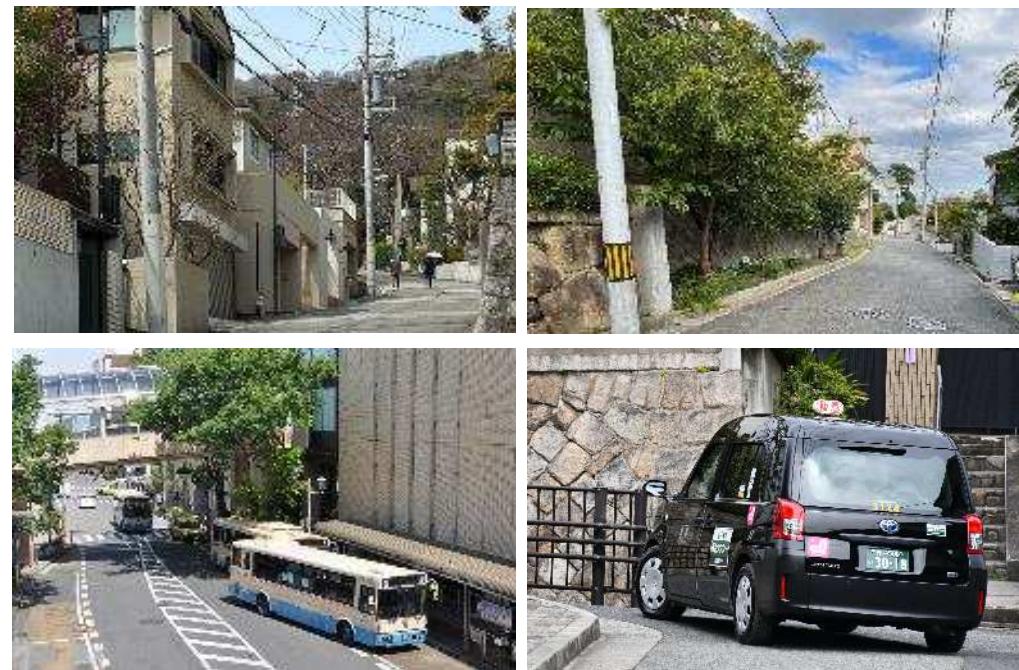
内 容

- 三条町・山芦屋町を中心とした地域と阪急芦屋川駅・JR芦屋駅を結ぶ乗合タクシーの運行内容を変更し、試験的運行を継続します。

【運行概要】（変更点：停留所、運賃の見直し）

- 平日の日中、概ね1時間に1本の便
- 予約があった便のみ運行
- 路線バスと同程度の料金で誰でも利用可能
- 運行期間 令和9年3月まで（予定）

- 公共交通網から離れている芦屋川以東の山手地域において、試験的運行導入の可能性を検討するため、関係機関との協議を行います。



みらいの都市づくり

更 新



(款)08土木費 (項)04都市計画費 (目)05公園緑地費

老朽化した公園施設を更新します

予算額

9,550万円

国 県	地方債	その他	一般財源
2,870万円	5,430万円		1,250万円

安全で安心して利用できる都市公園の整備を行うため、老朽化したトイレ、遊具、照明の更新を行います。

内 容

◆更新箇所

- ・打出浜公園のトイレ
- ・楠公園等の遊具
- ・東浜公園の照明設備



打出浜公園



楠公園

(撤去済)

みらいの都市づくり

新規



(款)08土木費 (項)04都市計画費 (目)05公園緑地費

芦屋川沿いのサクラ健全度調査を実施します

予算額 100万円

国 県	地方債	その他	一般財源
			100万円

芦屋川沿いのサクラは50年を経過するものもあり、かなり老木化が進んでいます。今後も市民に親しまれ愛され続けられるよう順次植え替えを行うため、令和8年度は芦屋川沿いのサクラを対象に健全度調査を実施します。

内 容

令和8年度及び令和9年度で、芦屋川沿いのサクラ約200本について健全度調査を実施し、危険な老木等は順次植え替え、芦屋川沿いのサクラ景観を守ります。



みらいの都市づくり

継続



(款)08土木費 (項)05住宅費 (目)01住宅管理費

住宅の取得・家賃を支援します ～いい家あつた！プロジェクト～

予算額	1,550万円		
国県	地方債	その他	一般財源
295万8千円			1,254万2千円

少子高齢化等による人口減少が進む中、新築住宅だけでなく、分譲マンションを含む既存の優良な住宅ストックの活用が必要です。そのため、住宅都市としての魅力を高め、良質な住宅ストックを次世代へ継承するため、新婚夫婦及び子育て世帯に対して住宅取得や家賃、引越し等に係る費用の一部を補助し、これらの世帯の市内居住を引き続き支援します。

内容

- ・中古住宅の取得支援(最大100万円)
- ・賃貸住宅の入居支援(最大60万円)

※補助対象となる住宅には、築20年以上経過した建築物であること等の条件があります。

※令和8年4月から令和9年2月の間に契約し、その支払いをおこなった費用が、補助対象となります。

- ・分譲マンション長期修繕計画の作成・見直し(最大30万円)

募集時期

- ・令和8年5月 受付開始予定



みらいの都市づくり

継続



市営大東町住宅をリノベーションして 有効活用します ～いい家あつた！プロジェクト～

大東町にある市営住宅の空き住戸(2階以上)をリノベーションし、その有効活用を図ることで、若者世帯・子育て世帯向けにターゲットを絞った安価な家賃の住宅を用意し、若者世帯・子育て世帯向けの住まいの選択肢として、芦屋市を選んでもらえるよう魅力の発信に取り組みます。

内 容

- ・若者世帯・子育て世帯に向けた市営住宅のリノベーション事業の実施
- ・対象は、エレベータのない大東町にある市営住宅を想定(3戸程度)

募集時期

- ・令和8年8月～9月(予定)

(款)08土木費 (項)05住宅費 (目)01住宅管理費

予算額 1,500万円

国 県	地方債	その他	一般財源
600万円			900万円

Before



After



※過去のリノベーション事例

建築住宅課 ☎0797-38-2721

みらいの都市づくり

継続



一般会計 : (款)08土木費 (項)04都市計画費 (目)04都市再開発費
都市再開発事業特別会計: (款)01都市再開発事業費
(項)02芦屋駅南地区再開発事業費 (目)02施設建設費

予算額 19億7,462万6千円

国 県	地方債	その他	一般財源
2億5,721万円	10億5,430万円		6億6,311万6千円

JR芦屋駅南地区が生まれ変わります

JR芦屋駅南地区において、安全で円滑な交通を確保するとともに、本市の南玄関口としてふさわしい魅力のあるまちづくりを進めるため、引き続き早期の完成に向けて市街地再開発事業を実施します。

内 容

地下埋設物の撤去・移設や電線共同溝整備等、道路整備に関する工事を令和7年度より継続して行います。

再開発ビル・ペデストリアンデッキ・地下駐輪場に関しては、用地取得・除却整地を完了させ、特定建築者とも連携して工事に着手します。

また、再開発ビル3階に整備する公益施設の市民ワークショップを行い、市民が主役となる施設づくりを進めます。



みらいの都市づくり

新規・継続



公共施設及び公益灯の照明をLED化します

(款)08土木費 (項)05住宅費 (目)02公営住宅建設費
(款)08土木費 (項)02道路橋梁費(目)01道路橋梁総務費 ほか

予算額

2億1,519万1千円

国 県	地方債	その他	一般財源
2,574万4千円		1,344万2千円	1億7,600万5千円

公共施設及び公益灯の照明設備について、水銀灯・蛍光灯等が製造中止となることに伴い、電力消費量が少なく、長寿命でCO₂排出量も削減できるLED製品への切り替えを促進します。

内 容

施設名	予算額
南芦屋浜団地・宮塚町2番住宅共用部	6,057万6千円
公益灯	4,616万9千円
消防庁舎	4,141万5千円
保健福祉センター(3階及び4階部分等)	2,860万円
市民センター(ホールホワイ工等)	2,198万9千円
みどり地域生活支援センター	1,344万2千円
環境処理センター	300万円



公益灯

その他の重要なとりくみ

継 続



姉妹都市提携65周年を記念し、 モンテベロ市と相互に訪問をします

65年に及ぶ姉妹都市交流を記念し、10年ぶりにそれぞれの市民訪問団がお互いの市を訪問し、交流を深めます。改めてお互いの市をよく知り、対話することで、もっと身近に姉妹都市を感じられる交流を目指します。

内 容

【4月】

市長・議長とともに市民訪問団がモンテベロ市を訪問。
文化交流を通じて、姉妹都市交流を進めます。

【11月】

モンテベロ市からの訪問団をお迎えし、芦屋市で市民と
交流するイベントを開催します。



モンテベロバラ園
(岩ヶ平公園内)



モンテベロ市内



その他の重要なとりくみ

新規



(款) 02総務費 (項) 01総務管理費 (目) 01一般管理費

生成AIの更なる業務活用と
基盤整備も見据えた業務再構築を実現します

予算額

770万3千円

国 県

地方債

その他

一般財源

770万3千円

生成AIの更なる業務活用や基盤整備も見据えた業務再構築(BPR)を検討することで、内部事務の効率化と職員の負担軽減を図り、住民サービスの向上を目指します。

内 容

【生成AIの更なる業務活用】

事務処理でのチェック機能や内部での問い合わせに対し、生成AIの活用を検討します。

【基盤整備も見据えた業務再構築(BPR)】

既存の業務プロセスを根本的に見直し、効率的な業務フローの構築を目指します。

【他の取組】

先進自治体を参考に実効性の高い業務効率化を目指してDXを進めます。



Artificial
Intelligence

その他の重要なとりくみ

新規



(款) 02総務費 (項) 01総務管理費 (目) 01一般管理費

来庁者に分かりやすく、
職員が働きやすい市役所を目指します

予算額 2,178万円

国 県	地方債	その他	一般財源
			2,178万円

『芦屋市公共施設等総合管理計画』では、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るために
は、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは困難な状況にあると示してい
ます。

本庁舎北館(1960年築)の更新時期が近づく中、他の庁舎の有効面積を増やし、北館機
能を他の庁舎に移転することで、北館の更新面積を抑制する取組を進めます。

内 容

電子申請等のDX推進、窓口のあり方や職員の働き方の
見直しにより、来庁者に分かりやすく、職員が働きやすい
オフィスを目指します。

令和8年度は、基本構想や基本設計に取り組み、令和14
年度を目途に南館や東館等の各フロアのレイアウト変更を
実施します。



付属資料

- 基金残高及び市債残高の状況(一般会計分)
- 引上げ分の地方消費税交付金が充てられる社会保障等経費
- 森林環境譲与税の使途
- 予算額の推移

基金残高及び市債残高の状況(一般会計分)

(単位:千円)

基金残高(一般会計)		6年度末 残高	7年度末 残高見込	8年度 積立予算額	8年度 取崩予算額	8年度末 残高見込
財政基金	14,545,710	14,396,748	71,447	3,499,573	10,968,622	
減債基金	713,755	717,230	3,565		720,795	
特定目的基金						
退職手当基金	195,313	196,264	976		197,240	
公共施設等整備基金	2,492,815	2,543,300	21,941	13,259	2,551,982	
社会福祉「友愛」基金	157,286	156,689	779	20,580	136,888	
市民文化振興基金	78,207	81,454	3,300	1,657	83,097	
緑化基金	143,465	155,571		3,000	152,571	
ボランティア基金	106,171	106,326	529	2,092	104,763	
スポーツ振興基金	247,282	234,816	22,318	700	256,434	
長寿社会福祉基金	290,263	297,239	1,478	13,788	284,929	
環境保全基金	57,156	64,031		9,700	54,331	
1.17あしゃフェニックス基金	19,429	19,943	100	600	19,443	
西田房子福祉基金	238,412	238,412			238,412	
大学等入学支援基金	91,319	87,758	437	6,345	81,850	
子ども・子育て支援基金	172,771	202,593	1,007	8,265	195,335	
教育振興基金	28,296	56,825	2,483	11,000	48,308	
無電柱化推進基金	62,530	62,965	313	2,300	60,978	
企業版ふるさと納税基金						
小計	4,380,715	4,504,186	55,661	93,286	4,466,561	
合計	19,640,180	19,618,164	130,673	3,592,859	16,155,978	
定期額基金						
美術品等取得基金	200,000	200,000			200,000	
土地開発基金	330,000	330,000			330,000	
小計	530,000	530,000			530,000	
総合計	20,170,180	20,148,164	130,673	3,592,859	16,685,978	

市債残高(一般会計)		6年度末 残高	7年度末 残高見込	8年度 起債予算額	8年度 償還予算額	8年度末 残高見込
一般会計市債残高	42,191,609	39,956,757	2,531,500	5,043,772	37,444,485	

引上げ分の地方消費税交付金が充てられる社会保障等経費

平成26年4月から消費税率が改定され、引上げ分の地方消費税収については社会保障4経費(年金、医療、介護、子育て)その他社会保障施策に要する経費に充当することとされています。

(歳入)引上げ分の地方消費税交付金 1,201,523 千円

(歳出)社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費(一般財源) 8,011,512 千円

(単位:千円)

項目	予算科目			歳出予算	特定財源			一般財源	
	款	項	目		国庫支出金	県支出金	その他	引上げ分	その他
社会福祉	3 民生費	1 社会福祉費	3 障害者福祉費	2,994,866	1,431,328	701,901	1,929	128,934	730,774
			6 医療助成費	795,281	3,805	143,569	34,418	92,008	521,481
		2 老人福祉費	2 老人福祉事業費	87,987		8,223	6,834	10,938	61,992
			1 児童福祉総務費	533,175	247,607	121,916	10,703	22,938	130,011
		3 児童福祉費	2 保育所費	4,240,739	1,339,468	645,235	206,596	307,365	1,742,075
			3 児童措置費	2,088,828	1,567,895	177,348		51,529	292,056
		5 母子福祉事業費	5 母子福祉事業費	8,306	6,229			311	1,766
			6 児童福祉対策費	303,637	202,425		75,900	3,796	21,516
		4 生活保護費	2 生活保護扶助費	1,414,980	1,061,235	18,446		50,286	285,013
			1 教育総務費	2 事務局費	79,759	39,879	19,940		2,990
		10 教育費	5 幼稚園費	278,356	3,872	3,337	2,346	40,313	228,488
			2 教育振興費	6,021				903	5,118
			6 社会教育費	3 青少年対策費	502,239	85,532	93,561	81,093	36,302
小計 ①				13,334,174	5,989,275	1,933,476	419,819	748,613	4,242,991
社会保険	3 民生費	1 社会福祉費	9 国保事業助成費	544,570	108,348	306,752		19,417	110,053
			11 後期高齢者医療費	337,000		252,750		12,635	71,615
		2 老人福祉費	5 介護保険事業助成費	1,394,615	49,791	24,895		197,957	1,121,972
			小計 ②	2,276,185	158,139	584,397		230,009	1,303,640
保健衛生	4 衛生費	1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	91,284		843	28,171	9,339	52,931
			2 予防費	347,311		249	7,150	50,978	288,934
			4 保健センター費	281,434	2,265	5,430	57,808	32,384	183,547
			5 市立病院整備費	868,146				130,200	737,946
			小計 ③	1,588,175	2,265	6,522	93,129	222,901	1,263,358
合計 (①+②+③)				17,198,534	6,149,679	2,524,395	512,948	1,201,523	6,809,989

※事務費及び人件費(サービスに直接従事しない職員分)については除外しています。

森林環境譲与税の使途

平成31年4月から森林經營管理法が施行されたことに伴い、その財源となる森林環境税及び森林環境譲与税が創設され、令和元年9月より森林環境譲与税が国から譲与されています。本市における令和8年度の森林環境譲与税の使途は、以下のとおりです。

(歳入) 森林環境譲与税

11,300 千円

(歳出) 森林環境譲与税により以下の事業を実施 ※基金取崩額含む

23,294 千円

(単位:千円)

事業	予算額	財源		
		森林環境譲与税	基金取崩額	その他
国産木材利用を目的として公共施設等整備基金へ積立	9,300	9,300		
市立保育所・認定こども園の木製製品購入	2,000	2,000		
市立中学校教室生徒ロッカー(木製)更新	11,994			11,994
合計	23,294	11,300	11,994	

<参考>森林環境譲与税に係る公共施設等整備基金積立現在額見込(令和8年3月末時点)46,029千円

【国産木材の活用事例(イメージ)】



おもちゃ棚



保育所屋内ベンチ

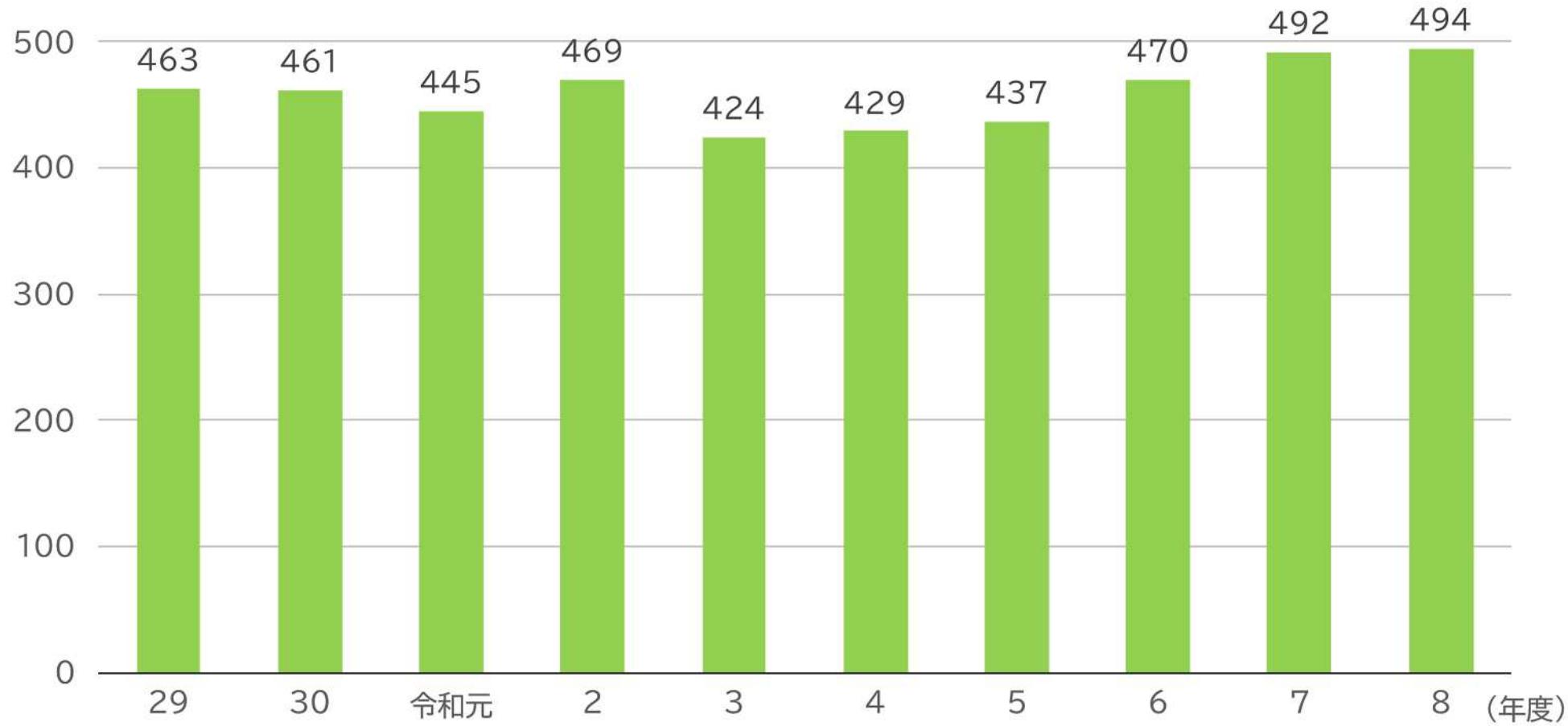


中学校教室ロッカー

予算額の推移

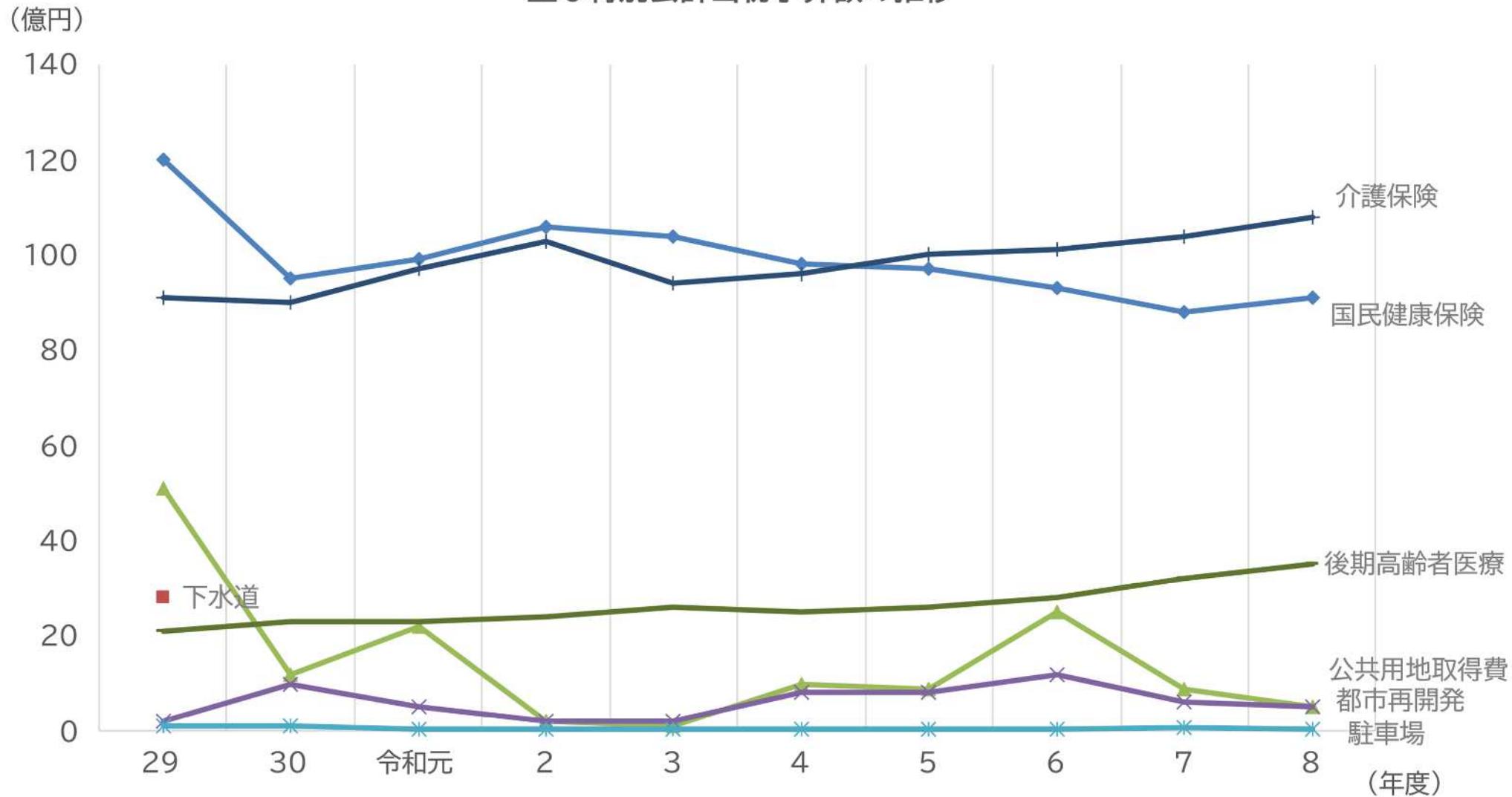
一般会計当初予算額の推移

(億円)



予算額の推移

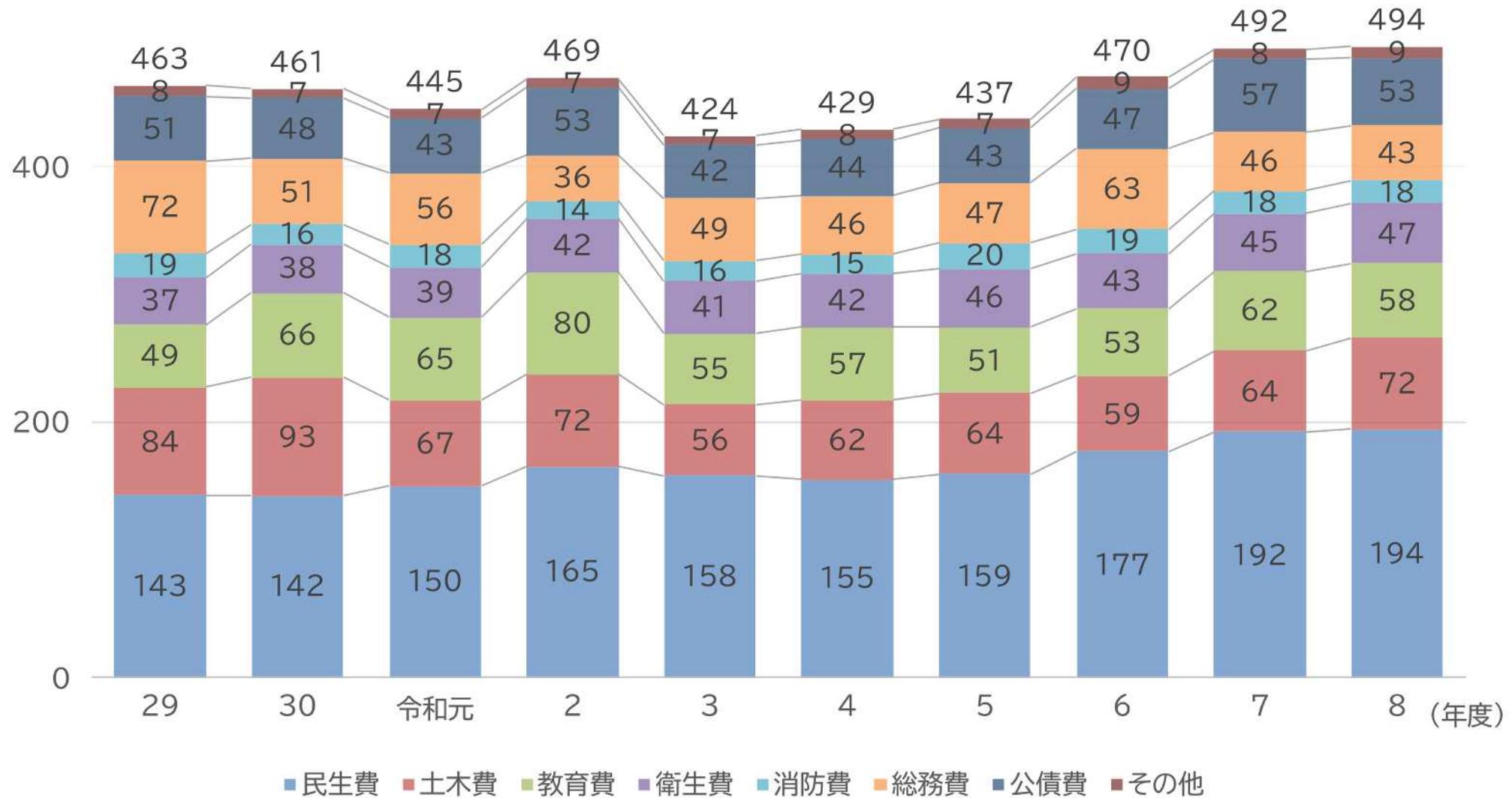
主な特別会計当初予算額の推移



予算額の推移

一般会計歳出目的別当初予算額の推移

(億円)

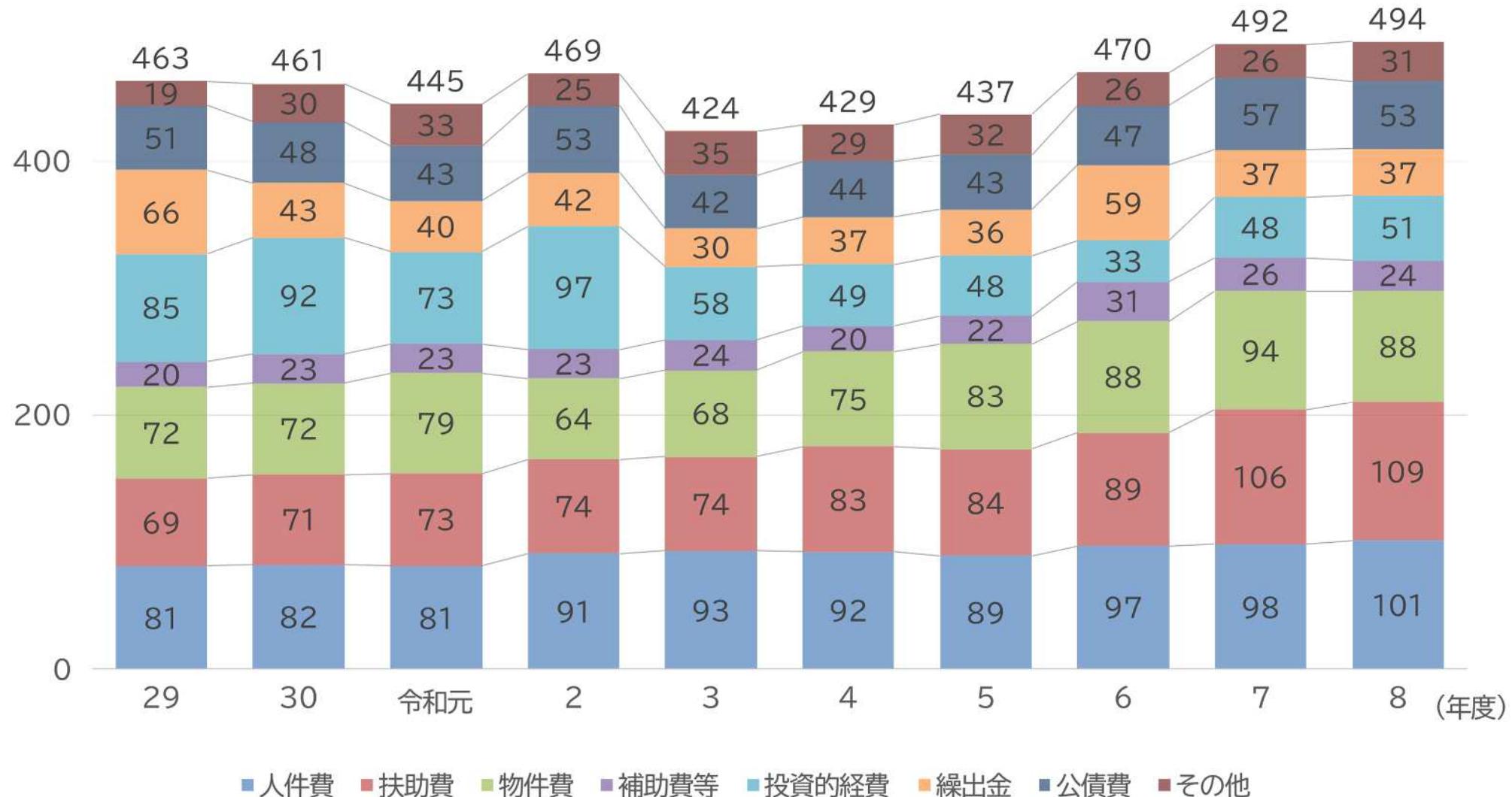


■ 民生費 ■ 土木費 ■ 教育費 ■ 衛生費 ■ 消防費 ■ 総務費 ■ 公債費 ■ その他

予算額の推移

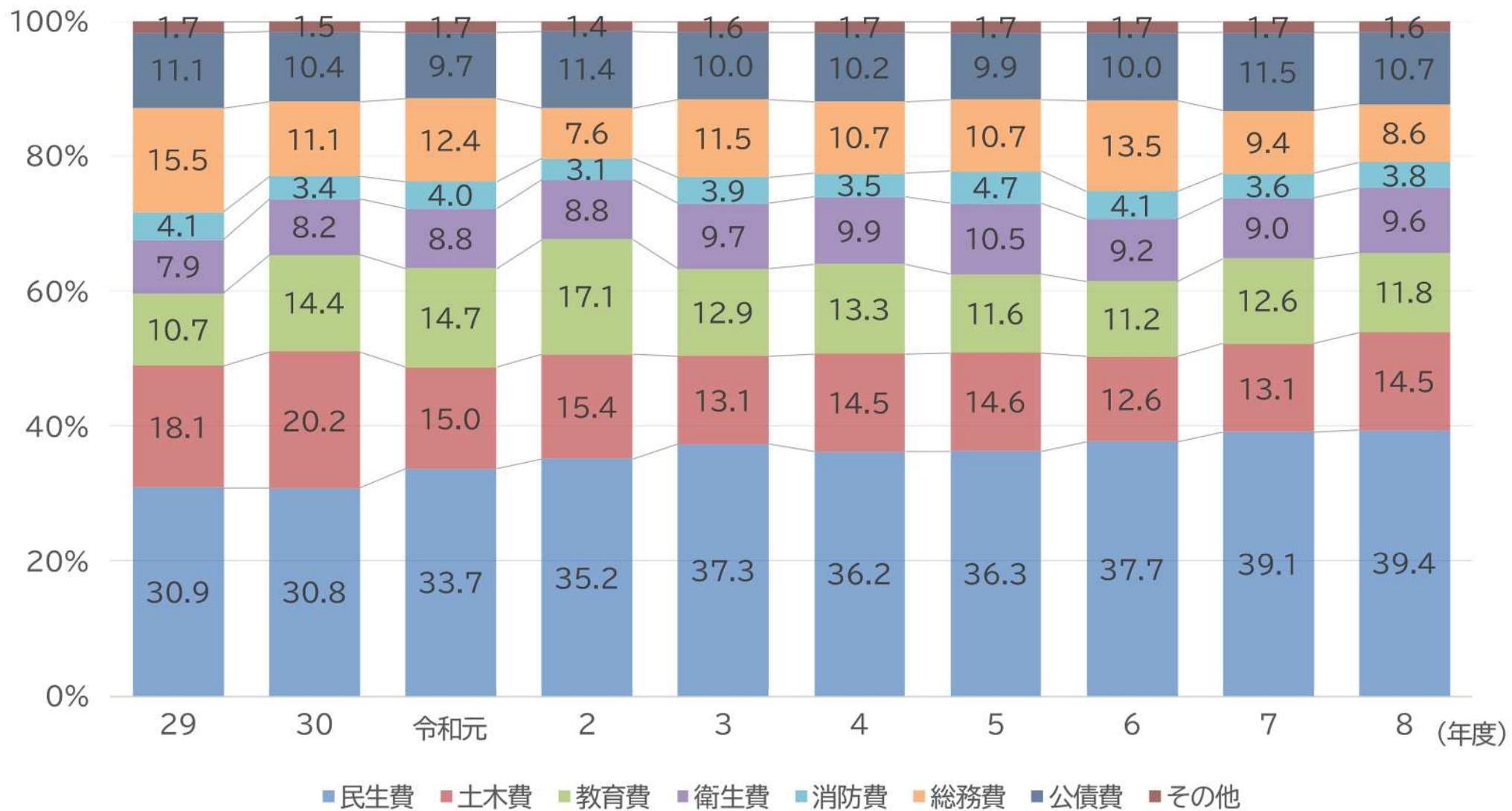
一般会計歳出性質別当初予算額の推移

(億円)



予算額の推移

一般会計歳出当初予算目的別構成比の推移



予算額の推移

一般会計歳出当初予算性質別構成比の推移

